

社会(中)部会 実技・理論研修会 終了報告

テーマ	授業づくり～研究に基づいた授業展開とは～	
日 時	令和7年8月7日(木)	
会 場	石狩教育研修センター	
指導者	大塚 憲司 氏(江別市立野幌中学校教諭)	
参加者	27名	
研修会 の 様 子		今年度の実技・理論研修会は、江別市立野幌中学校教諭である大塚憲司氏に石中社の今年度の研究について、特に今年度の研究のキーワードである「導入の工夫」を中心に改めて内容の確認、捉え方などを説明していただきました。
		石中社の小委員会(プロジェクト)担当者2名から地理分野・歴史分野の内容で研究に則した自分たちの授業実践の紹介をしていただきました。その後、参加者は歴史分野、地理分野に分かれて、第二次研究協議会公開授業での学習内容を各自で指導案の作成、グループでの交流を行いました。
		参加者からは、研修を通して、研究の概要をご説明いただき、日常の実践を行う方向性を確認できた。授業実践の紹介や指導案検討もあり、他の先生の授業の工夫などを知ることができた。「導入」と聞くと抽象的なイメージで具体的なイメージがついていなかったが、研究主題との関わりについても深めることができたなど、今後の授業実践に繋がる声が多く聞かれました。 多忙の中、準備を進めていただいた指導者の大塚憲司氏と実践報告をしていただいた先生方に対して出席者全員で感謝しつつ、研修会を終えました。